

## 事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 交流文化部

所属名 誘客推進課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
㊦トップブランドとタイアップした福井の魅力発信事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和3年度	令和12年度	37,483	—	6,869		30,614	拡充
ふくいブランド全国発信強化事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成23年度	令和12年度	24,032	—		280	23,752	継続
越前若狭お城フェス開催事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和6年度	令和8年度	11,000	—			11,000	継続
大河ドラマ等を活用した魅力発信事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和9年度	34,079	—			34,079	整理統合
㊦福井が舞台の作品によるコンテンツツーリズム推進事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和8年度	令和10年度	7,886	—	3,943		3,943	—
福井を舞台とした映画等誘致事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成29年度	令和10年度	33,000	—			33,000	継続
恐竜ブランドキャラクタービジネス促進強化事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成24年度	—	9,150	—		826	8,324	縮減
旅の目的地となる飲食店開業支援事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和9年度	20,168	—			20,168	縮減
旅の目的地となる飲食店魅力アップ事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和8年度	56,062	—	18,456		37,606	継続
富裕層に向けた魅力発信業務	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和5年度	令和10年度	15,825	—	7,912		7,913	縮減
首都圏・東北地域での誘客プロモーション事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和4年度	令和9年度	93,130	—			93,130	継続
中部縦貫自動車道開通に向けた中京圏誘客プロモーション事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和10年度	37,794	—	18,897		18,897	継続
関西圏誘客プロモーション事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和9年度	26,788	—	13,394		13,394	縮減
メディアプロモーション事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和2年度	令和9年度	51,159	—			51,159	継続
シニア女性に向けたPR促進事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和6年度	令和9年度	6,716	—			6,716	縮減
SNSを活用した福井ファン拡大事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和元年度	令和9年度	9,185	—			9,185	縮減
関西圏での観光・物産PR拠点設置事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和5年度	令和10年度	40,059	—			40,059	継続
㊦新キャッチコピー・ロゴマーク活用による魅力発信事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和8年度	令和8年度	54,340	—	27,170		27,170	—
㊦「いいとこ、掘りだくさん。」キャンペーン事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和8年度	1,699,650	—	1,699,650			—
中部縦貫自動車道県内全線開通スタートアップ事業・誘客課	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和10年度	10,319	—	5,159		5,160	継続
北陸三県連携誘客促進事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和4年度	令和9年度	12,000	—			12,000	継続
福井・京都・滋賀三府県連携観光促進協議会負担金	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成29年度	令和9年度	800	—			800	継続
㊦第5次恐竜化石発掘調査事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和8年度	令和27年度	66,010	—			66,010	—

# 事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 交流文化部

所属名 誘客推進課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
大野市における恐竜化石等の共同発掘・調査研究事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成30年度	令和11年度	2,076	—			2,076	縮減
国内恐竜化石等共同調査研究事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成22年度	令和8年度	1,800	—			1,800	継続
海外恐竜化石調査共同研究事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成23年度	令和11年度	30,876	—			30,876	継続
恐竜博物館企画展開催事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成12年度	—	129,299	—		203,414	△ 74,115	継続
恐竜博物館パーク&バスライド推進事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成28年度	—	25,901	—			25,901	継続
㊦恐竜博物館団体旅行誘致強化事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和9年度	8,332	—	1,416		6,916	拡充
地域振興基金積立金	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成22年度	—	180,220	—		180,220		継続
㊧恐竜を核とした学習・交流機会創出事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和8年度	—	500	—			500	—
ふくいの魅力創造・発信応援事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和5年度	令和7年度		—				廃止
㊨福井が舞台のアニメ「千歳君はラムネ瓶のなか」とのタイアップPR事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				完了
㊩メディアとの連携による食の魅力発信・誘客拡大事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				廃止
大阪・関西万博ふくいPRステージ開催事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和6年度	令和7年度		—				完了
大阪・関西万博出展事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和4年度	令和7年度		—				完了
第5次恐竜化石発掘調査準備事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和4年度	令和7年度		—				完了
「ポケモン化石博物館」開催事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和6年度	令和7年度		—				完了
恐竜博物館開館25周年記念準備事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和6年度	令和7年度		—				完了
アジア恐竜シンポジウム開催事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				完了
					2,735,639		1,802,866	384,740	548,033	

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和3年度
⑧ トップブランドとタイアップした福井の魅力発信事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	北陸新幹線福井・敦賀開業後においても、国内外で高い知名度、発信力を有する企業と連携した食や伝統工芸品、恐竜等を活用したプロモーションを実施し、本県のブランド力向上および開業効果の最大化を図る。				
事業内容	トップブランドとタイアップした商品開発、イベント開催 等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	37,483	－	6,869		30,614
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	タイアップ件数（件）	4	4	令和7年度
事業評価	ポケモン：県内を巡るスタンプラリーイベントの開催 等 ゴディバ：越前蕎麦とチョコレートのマリアージュキャンペーンの実施 等 アストンマーティン：アストンマーティン公認ドライブマップの作成 （映画）ジュラシック・ワールド：全国の映画館や首都圏の屋外ビジョンでCMを上映 等				
区分	拡充	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	平成23年度
ふくいブランド全国発信強化事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	北陸新幹線福井・敦賀開業後においても、情報発信の絶対量を増やしていくとともに、全国へ明るく楽しい話題を多く提供することにより、本県の魅力を発信する。				
事業内容	(1) 音声メディアによる魅力発信 (2) ふるさと大使による情報発信、ブランド大使活動支援 (3) フィルムコミッション推進事業 ・ロケ候補地マップ作成、映画・ドラマ・番組制作にかかるロケ支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	24,032	－		280	23,752
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	音声メディア発信数（回）	12	12	令和7年度
事業評価	首都圏でのラジオ放送（年間12回）や取材支援を行い、福井県を県内外にPR 成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定				
区分	継続				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和6年度
越前若狭お城フェス開催事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	北陸新幹線福井・敦賀開業を記念し、お城をフックとしたイベントを県内で開催することにより、県外のお城ファンの本県への誘客を促進するとともに、県内各地の城の知名度を向上させ、本県における歴史ツーリズムの活性化を図る。				
事業内容	越前若狭お城フェスの開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	11,000	－			11,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	イベント開催件数	1	1	令和7年度
事業評価	嶺南地域でお城イベントを開催（全国のお城のブース出展、若者に人気の武将隊の演舞、お城ツアーやJR小浜線御城印キャンペーン等を展開し、1万人が来場） 成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定				
区分	継続				

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和7年度	
	大河ドラマ等を活用した魅力発信事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	2026大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送に合わせて、福井の歴史の魅力を全国に発信する。				
事業内容	(1) ドラマ出演者、番組制作者等のトークショー開催 (2) 雑誌のタイアップ記事掲載 (3) 脚本家等の誘致				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	34,079	－			34,079
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	雑誌タイアップ数（回）	3	3	令和7年度
事業評価	<事業実績> ・首都圏でドラマキャストなどによるトークイベントを開催（11月、2月） ・ドラマキャストがゆかりの地を巡り、福井の歴史を発信（4月、2月） ・ドラマと福井のゆかりを紹介するパンフレットなどを制作（4月）				
区分	整理統合	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和8年度	
	⑧ 福井が舞台の作品によるコンテンツツーリズム推進事業		事業終了年度	令和10年度	
事業目的	福井が舞台のアニメやドラマ等の作品によるコンテンツツーリズムを推進することで、本県の魅力を全国に発信し、誘客を促進。				
事業内容	(1) 聖地巡礼スタンプラリー (2) ロケ地情報雑誌への掲載 等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	7,886	－	3,943		3,943
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	コンテンツ数（件）	3	－	令和8年度
事業評価	－				
区分	－				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	平成29年度
福井を舞台とした映画等誘致事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	福井を舞台とした映画等の県内ロケに係る費用を支援し作品を誘致することにより、作品を通して本県の認知度向上を図る。				
事業内容	福井を舞台とした映画等に対する補助				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	33,000	－			33,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	補助件数（件）	4	－	令和8年度
事業評価	<事業実績> 令和5年度 1件 令和6年度 2件 令和7年度 実績なし				
区分	継続				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	平成24年度
		恐竜ブランドキャラクタービジネス促進強化事業		事業終了年度	—
事業目的	公式恐竜ブランドキャラクター「Juratic」を活用し、新たな商品開発と販路拡大を進め、全国に「恐竜といえば福井」を発信する。				
事業内容	(1) 「Juratic」デザインの監修、県内外の事業者に対する商品開発に向けた営業 (2) 県内外での「JuraticPR隊」の広報宣伝活動				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,150	—		826	8,324
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	ジュラチック累計商品数（個）	517	—	令和7年度
	活動指標	商品・サービスの支援・監修（件）	517	—	令和7年度
事業評価	令和7年度は大阪・関西万博のワールドキャラクターパレードへの出演や竜王戦フォトセッションへの参加など、国内外に向けた恐竜王国福井の発信を行った。 ※令和7年度累計商品数の実績は令和8年4月頃に確定する予定				
区分	縮減				

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和7年度	
	旅の目的地となる飲食店開業支援事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	都会にはない本県ならではの強みを活かすため、福井の食材や伝統の技を体感できる飲食店の開業を支援し、産地に根差した美食の拠点を創出する。				
事業内容	福井の食材や伝統の技を体感できる飲食店の施設・設備等の整備を支援 ①対象経費：店舗改修費、厨房設備費等 ②補助率：県 1/2 ③補助上限：20,000千円				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	20,168	－			20,168
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	補助件数（件）	2	2	令和7年度
事業評価	飲食店2件の整備を支援 成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定				
区分	縮減				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）			経費区分	政策的経費	
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化			事業開始年度	令和7年度	
旅の目的地となる飲食店魅力アップ事業			事業終了年度	令和8年度	
事業目的	著名なシェフ等が参画するフォーラムや県内レストランにおけるレストランウィーク等を集中的に開催することで、本県の食の魅力国内外に発信するとともに、県内シェフを育成し、食を目的とした誘客促進を図る。				
事業内容	(1) キュレーターが選んだ飲食店の料理を味わうレストランウィークの開催 (2) 著名なシェフ等が交流するレストランフォーラムの開催 (3) 仏フェランディ校との人材交流 等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	56,062	－	18,456		37,606
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	フォーラムの開催（回）	1	1	令和7年度
事業評価	<事業実績> ・キュレーターが選んだ飲食店の料理を味わうレストランウィークを開催（10月～11月） ・トップシェフを招聘したガストロノミーフォーラムを開催（10月） 成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定				
区分	継続				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和5年度
富裕層に向けた魅力発信業務				事業終了年度	令和10年度
事業目的	富裕層へ向けた発信力のある著名人やメディア関係者を対象としたツアーを開催し、福井の食や食文化、伝統工芸などを雑誌やTV、SNS等の媒体を使い、ターゲット層に響く情報発信を行うことで、誘客促進および観光消費額の増加を図る。				
事業内容	(1) 発信力のあるメディアや著名人等を招聘した「福井の食ツアー」の開催 (2) ワインを活用した魅力発信事業 (3) ランボルギーニ・G I R O ジャパン 2 0 2 6 等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	15,825	－	7,912		7,913
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	福井の食ツアー開催（回）	2	2	令和7年度
事業評価	<事業実績> ・富裕層をターゲットにした交流会を開催（5月、9月） ・福井県内で雑誌社等を招聘したツアーを開催し、「婦人画報」、「男の隠れ家」等3誌にて、本県が有する食の魅力を発信				
区分	縮減	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和4年度
首都圏・東北地域での誘客プロモーション事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	北陸新幹線の開業効果を最大化・持続化させるため、始発駅となる東京駅を中心に沿線駅等で、PR活動やイベントなど連続的なプロモーションを行い、本県への誘客拡大を図る。				
事業内容	(1)北陸新幹線沿線のJR主要駅（東京駅、大宮駅）や福井ゆかりの地（神楽坂）、東北地域のJR主要駅（仙台駅）で出向宣伝等のPRを実施 (2)首都圏のJR主要駅にポスターを掲出（年4回、約110駅・170枚を各1週間掲出） (3)観光地等を駅たびコンシェルジュで案内する「福井トリップナビゲーター」の育成				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	93,130	－			93,130
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	出向宣伝回数（回）	4	5	令和7年度
事業評価	北陸新幹線沿線のJR主要駅で出向宣伝等を実施することで、本県の認知度向上を図り、誘客につなげることができた。 <事業実績> 出向宣伝：5回（東京駅、大宮駅、仙台駅、神楽坂、みずほ銀行イベントスペース） 首都圏ポスター：年4回約90駅170枚、トリップナビゲーター研修：2回				
区分	継続	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和7年度
中部縦貫自動車道開通に向けた中京圏誘客プロモーション事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	中部縦貫自動車道県内全線開通に向けて、中京各県での本県観光情報の露出を拡大し、認知度向上と本県への誘客拡大を図る。				
事業内容	(1)名古屋駅周辺施設と連携したPR、ロードサイド店舗、高速道路SAでのPRを実施 (2)岐阜県・滋賀県との連携による誘客強化事業 (3)出向宣伝などの営業活動（観光宣伝隊） (4)NEXCOと連携した観光誘客事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	37,794	－	18,897		18,897
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	出向宣伝回数（回）	5	5	令和7年度
事業評価	中京圏で出向宣伝等を実施することで、本県の認知度向上を図り、誘客につなげることができた。 <事業実績> 出向宣伝：5回（名古屋駅周辺、長良川SA、カラフルタウン岐阜、愛知県国際展示場、関ヶ原古戦場記念館）				
区分	継続	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和7年度	
	関西圏誘客プロモーション事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	関西圏において、ファミリー層を中心に福井の観光情報を発信し、本県の認知度と関心を高め、さらなる誘客促進を図る。				
事業内容	(1) J R大阪駅・京都駅構内を使った広告掲出、J R京都駅出向宣伝の実施 (2) Y o u T u b e を活用した福井の観光動画の配信				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	26,788	－	13,394		13,394
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	出向宣伝回数（回）	1	1	令和7年度
事業評価	関西圏で出向宣伝等を実施したほか、J R大阪駅・京都駅のデジタルサイネージやY o u T u b e を活用して本県の認知度向上を図り、誘客につなげることができた。 <事業実績> 出向宣伝：1回（京都駅） 広告掲出：R7.6.2～7.16、7.21～8.31、9.1～10.5の3回に分けて掲出 観光動画：5本制作、「ふくいこチャンネル」にて配信 （平均視聴回数：約25万回 R7.2月末時点）				
区分	縮減	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和2年度
メディアプロモーション事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	本県が誇る「本物」の情報をメディアが利用しやすい形で提供することにより、首都圏および関西圏、中京圏メディアの取材を誘致し、本県情報の露出拡大を図る。				
事業内容	(1)メディアへのパブリシティ活動 メディアへのPR活動、PRワイヤーの配信、メディアミーティングの開催等 (2)メディアに対する取材招致活動 取材コーディネート、助成金等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	51,159	－			51,159
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	取材招致件数（件）	30	－	令和7年度
事業評価	全国ネットのテレビ番組をはじめ、関西圏・中京圏のローカル番組等において、本県の旬の観光情報等を発信し、誘客拡大につなげることができた。 <事業実績> 取材招致件数（令和8年1月末時点）46件 令和7年度メディア露出件数（令和8年1月末時点） ・テレビ：26件 ・新聞雑誌：8件 ・WEB：1,160件 計1,194件 ※令和7年度取材招致件数の実績は令和8年4月頃に確定する予定 ※成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定				
区分	継続				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和6年度
シニア女性に向けたPR促進事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	富裕層のシニア女性から圧倒的支持を得ている生活情報誌とタイアップし、本県観光情報の発信等を行い、認知度向上と本県への誘客を促進する。				
事業内容	(1)生活情報誌の読者と編集部がモニターツアーを開催し、同世代目線での福井県の観光ポイントを紹介する誌面広告の作成 (2)本県在住の生活情報誌読者がお勧めする知られざる場所を行程に盛り込むなどの唯一無二のオリジナルツアー造成し、集客を実施。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,716	－			6,716
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	広告掲載回数（回）	1	1	令和7年度
事業評価	生活情報誌「ハルメク」に福井県特集記事の掲載 ・掲載号：8月10日発行 9月号 A4・4ページ オリジナルツアーの造成・集客 ・特集記事と連動したツアーを造成し、同じ号の誌面に掲載し集客（参加者92名） 動画の作成・配信 ・ハルメクの山岡編集長と知事の対談動画 ・特集記事で紹介しきれなかった情報や映像で伝えたい情報をまとめた動画 成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定				
区分	縮減				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和元年度
SNSを活用した福井ファン拡大事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	新幹線開業による誘客効果を県内隅々まで波及させるため、SNSや女性向けサイト等で本県の魅力ある観光情報を発信し、認知度向上と本県への誘客を促進する。				
事業内容	(1)インスタグラム上の旅情報発信コミュニティ「福井女子部」を運営し、インスタグラマーによるインスタ映えスポットの取材・発信 (2)県民向けのワークショップを開催し、県内からのSNS発信を強化 (3)女性向け旅サイト内において特設ページを運営し、観光情報の発信				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,185	－			9,185
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	「福井女子部」派遣回数（回）	3	3	令和7年度
事業評価	<p>「福井女子部」の派遣による県内観光情報の発信、福井女子部やワークショップ参加者の撮影素材を活用した「インスタマガジン」を福井県観光連盟インスタグラムアカウントにて投稿し、SNSにて魅力を発信</p> <p>&lt;事業実績&gt;</p> <p>福井女子部：R7.6.2～7.1、7.5～8.18、10.5～11.3で派遣し、自身のインスタグラムに投稿          インスタマガジン：12本中9本制作・投稿（R8.1月末現在）          ワorkshop：R7.10.26～11.30に嶺北（15名）・嶺南（8名）会場に分けて実施</p> <p>成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定</p>				
区分	縮減				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和5年度
関西圏での観光・物産PR拠点設置事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	JR大阪駅直結の商業施設「KITTE大阪」内に北陸三県共同で情報発信拠点「HOKURIKU+（ホクリクプラス）」を設置し、関西圏からの誘客を促進する。				
事業内容	○福井・石川・富山の北陸三県から成る運営協議会による情報発信拠点の運営 (1)各県の特産品販売やスタンディングバーでの地酒提供等 (2)観光コンシェルジュの配置 (3)パンフレット配架やイベントスペースを活用した情報発信				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	40,059	－			40,059
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	イベント実施回数（回）	12	12	令和7年度
事業評価	来店者数 2,042千人（R6.7.31～R8.1.31） 月平均 約114千人 1日あたり平均 約3.4千人 ※R8.1.31現在（期間：R6.7.31（開業日）～R8.1.31） 成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定				
区分	継続				

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和8年度	
	⑧ 新キャッチコピー・ロゴマーク活用による魅力発信事業		事業終了年度	令和8年度	
事業目的	新たな観光PRキャッチコピー・ロゴマークを活用し、福井の魅力を県内外へ最大限に発信することで、福井は魅力が盛りだくさんであるというイメージを植え付け、さらなる誘客促進を図っていく。				
事業内容	(1)本県の玄関口である福井駅や県外イベント等での魅力発信 (2)プロスポーツチームによるPR (3)PRグッズの作成				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	54,340	－	27,170		27,170
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	出向宣伝回数（回）	10	－	令和8年度
事業評価	－				
区分	－				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和7年度
⑨ 「いいとこ、掘りだくさん。」キャンペーン事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	物価高騰による近場・日帰り旅行の傾向が一層強まっているため、お得に旅行ができるキャンペーンを実施することにより、宿泊旅行を促し、県内における観光消費の拡大を図ります。				
事業内容	(1) 県内宿泊者にふくいはぴコインを進呈する宿泊キャンペーンの実施 (2) 県内高速道路が定額乗り放題となる「福井県周遊ドライブプラン」の造成				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,699,650	－	1,699,650		
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	キャンペーン利用者数（千人）	300	－	令和8年度
事業評価	－				
区分	－				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和7年度
中部縦貫自動車道県内全線開通スタートアップ事業・誘客課				事業終了年度	令和10年度
事業目的	中部縦貫自動車道県内全線開通に向け、沿道4市町が中京圏や県内で実施する誘客イベントへの支援や連絡会議等の実施により、開通時の効果の最大化を図る。				
事業内容	(1)中京圏や県内で実施する誘客に資するイベント実施の支援 補助対象者 中部縦貫自動車道沿道4市町 補助率等 1/2（補助上限：イベント開催2,500千円） (2)沿道市町と連絡会議の開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	10,319	－	5,159		5,160
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	イベント開催回数（回）	4	4	令和7年度
事業評価	県内や中京圏でイベントを実施することで、中部縦貫自動車道の開通をPRすることができた。 <事業実績> ・岐阜県で福井フェア実施（福井市） ・福井駅前でふくい桜まつり内でPR実施（福井市） ・岐阜県で出向宣伝実施（大野市） ・永平寺町内でPRイベントを実施（永平寺町）				
区分	継続	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和4年度	
	北陸三県連携誘客促進事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	北陸三県が連携した観光PRのため、「北陸」をテーマに首都圏、関西圏および中京圏等への共同プロモーションを実施する。				
事業内容	○福井・石川・富山の北陸三県連携観光誘客協議会による観光誘客 (1)首都圏等において、マスメディアを招待したメディア交流会を開催 (2)距離が近く身近であ中京圏や新幹線開業で身近となった東北地域で出向宣伝を実施 (3)旅の目的となるイベント等を北陸で開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	12,000	－			12,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	メディア交流会開催（回）	3	3	令和7年度
事業評価	大手出版社等を招待し、地元自治体によるプレゼンやブース商談会を通じ、北陸の観光素材や魅力を発信。 【実績（いずれも東京）】 1回目 時期 7月 参加者数 80名 2回目 時期 10月 参加者数 67名 3回目 時期 11月 参加者数 65名				
区分	継続	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	平成29年度
福井・京都・滋賀三府県連携観光促進協議会負担金				事業終了年度	令和9年度
事業目的	舞鶴若狭自動車道（若狭さとうみハイウェイ）、京都縦貫自動車道の全線開通による新たな高速交通ネットワークを活かし、日本遺産や鉄道遺産、海湖と森の雄大な自然資産に美味しい食などの魅力を加えた新たな広域観光誘客を、福井県、滋賀県、京都府で連携して促進する。				
事業内容	○福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会（3府県）による観光誘客 (1)新たな周遊モデルルートの開発（三府県をめぐる旅行を提案するパンフレットを作成） (2)NEXCO西日本、NEXCO中日本と連携した周遊促進企画「京都・若狭路・びわ湖・はりま路ぐるっとドライブパス」の実施				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	800	－			800
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	ぐるっとドライブパス申込数（件）	12,000	12,000	令和7年（暦年）
事業評価	・NEXCO西日本、NEXCO中日本と連携した周遊促進企画「ぐるっとドライブパス」を実施。 ・「ぐるっとドライブパス」のPRと「三府県周遊」の促進を目的とした、パンフレットの作成とWEB等でのプロモーションを実施。 ・作成したマップは、NEXCO西日本、NEXCO中日本、各府県等への配布を通して、観光施設や観光キャンペーン等で活用することで、相互PRを行うとともに、各観光スポットへの誘客強化を図る。				
区分	継続	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和8年度	
	⑨ 第5次恐竜化石発掘調査事業		事業終了年度	令和27年度	
事業目的	勝山市の発掘現場は世界的に見ても有望な前期白亜紀の恐竜化石産地である。前期白亜紀の環境や生態系を明らかにするため、第4次発掘調査に引き続き化石発掘調査を行う。				
事業内容	(1) 発掘工事 (2) 発掘調査 (3) 化石クリーニング				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	66,010	—			66,010
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	—			
	活動指標	—			
事業評価	※事業評価指標については、研究内容によって変動するため設定しない。				
区分	—				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	平成30年度
大野市における恐竜化石等の共同発掘・調査研究事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	大野市で産出される化石は、勝山市北谷で産出される化石よりも古い時代のものである。博物館近くで異なる時代の化石を発掘・収集できるメリットを活かし、学術的価値の高い国内最古の化石の発掘を今後も継続して実施することにより、恐竜博物館の研究と展示の魅力向上に活用する。				
事業内容	(1) 荒島岳東方（五箇地区仏原）での発掘調査 (2) 中部縦貫自動車道工事のトンネル掘削で排出された岩石の小割り調査				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,076	－			2,076
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	－			
	活動指標	－			
事業評価	令和7年度の荒島岳東方（五箇地区仏原）における発掘調査では、複数の脊椎動物化石を収集。6月にはドリコサウルス科トカゲ類の左上顎骨を日本古生物学会年会にて発表し、恐竜博物館と大野市の和泉郷土資料館（くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ）で8月から期間限定で展示。				
区分	縮減	※事業評価指標については、研究内容によって変動するため設定しない。			

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	平成22年度
国内恐竜化石等共同調査研究事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	県外の恐竜をはじめとした学術価値および注目度の高い化石を対象に、その産出地組織である自治体（長崎市、天草市、岐阜県、徳島県）と共同発掘を含む研究調査や化石クリーニングを行うことにより、国内における恐竜研究の拠点化とネットワークの形成を図るとともに、恐竜博物館内の展示の充実につなげていく。				
事業内容	(1) 九州地方恐竜・哺乳類化石プロジェクト (2) 中部地方恐竜化石プロジェクト (3) 四国地方恐竜化石プロジェクト				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,800	－			1,800
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	－			
	活動指標	共同研究相手自治体	4	4	令和7年度
事業評価	長崎市との共同発掘調査により発見された新たな鎧竜の歯の化石について、令和7年6月に学会発表を行い、10月より展示を公開した。 ※成果指標については、研究内容によって変動するため設定しない。				
区分	継続				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	平成23年度
海外恐竜化石調査共同研究事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	国外の恐竜をはじめとした学術価値および注目度の高い化石を対象に、その産出国と共同研究、研究調査、化石調査等を行うことにより、恐竜博物館の国際的な拠点化と恐竜研究ネットワークの形成を図るとともに、恐竜博物館内の展示の充実につなげていく。				
事業内容	(1) タイにおける恐竜化石の発掘調査 (2) 中国における恐竜化石の共同研究 (3) アメリカにおける恐竜化石の発掘調査				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	30,876	－			30,876
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	－			
	活動指標	共同研究相手国	3	3	令和7年度
事業評価	令和7年度はタイにおいて共同研究を引き続き実施するとともに、新たにアメリカにおいて姉妹提携機関であるモンタナ州立大付属ロッキー博物館との共同発掘調査を開始した。 ※成果指標については、研究内容によって変動するため設定しない。				
区分	継続				

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	平成12年度	
	恐竜博物館企画展開催事業		事業終了年度	—	
事業目的	恐竜博物館来館者に対して新しい知識や情報を提供し、恐竜をはじめとする古生物学への見識と関心を広める。				
事業内容	中国の恐竜研究の最前線をテーマとした企画展を開催し、世界初公開の中国のヨロイ竜であるドンヤングペルタの全身復元骨格や獣脚類のトンティアンロンの実物化石等を展示する。 開催期間：令和8年7月10日（金）～11月3日（火・祝）の117日間（予定）				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	129,299	—		203,414	△ 74,115
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	特別展観覧者数（人）	365,843	365,843	令和7年度
	活動指標	開催日数（日）	116	116	令和7年度
事業評価	令和7年度は特別展「獣脚類2025～「フクイ」から探る恐竜の進化～」を開催し、観覧者数は365,843人となり、過去最高を更新した。				
区分	継続				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	平成28年度
		恐竜博物館パーク&バスライド推進事業		事業終了年度	—
事業目的	恐竜博物館への入館者数が増加しているなか、パーク&バスライドを実施することにより、繁忙期における勝山市内での渋滞発生状況の改善を図る。				
事業内容	(1) 臨時駐車場からのシャトルバスの運行 (2) ノベルティの配布によるシャトルバスの利用促進				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	25,901	—			25,901
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	恐竜博物館入館者数（人）	1,300,000	—	令和7年度
	活動指標	シャトルバス運行日数（日）	25	25	令和7年度
事業評価	令和7年度はパーク&バスライドを25日間実施した。 ・大規模渋滞の発生日数：6日間  ※令和7年度の恐竜博物館入館者数は令和8年4月頃に確定する予定				
区分	継続				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）			経費区分	政策的経費	
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化			事業開始年度	令和7年度	
⑧ 恐竜博物館団体旅行誘致強化事業			事業終了年度	令和9年度	
事業目的	地域おこし協力隊による旅行会社への積極的な営業を行うとともに、「博物館ガイド（団体向け解説員）」を設ける形で、団体旅行商品造成を支援することにより、博物館の団体旅行数および来館者の増加を図る。				
事業内容	（1）「博物館ガイド（団体向け解説員）」の設置 （2）地域おこし協力隊「福井県立恐竜博物館営業マネージャー」の活用				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	8,332	－	1,416		6,916
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	恐竜博物館入館者数（人）	1,300,000	－	令和7年度
	活動指標	地域おこし協力隊の採用人数（人）	1	1	令和7年度
事業評価	令和7年度は地域おこし協力隊「福井県立恐竜博物館営業マネージャー」を活用し、旅行会社に対するツアー造成の働きかけを行うなど、三大都市圏を中心に営業活動を実施。 ※令和7年度の恐竜博物館入館者数は令和8年4月頃に確定する予定				
区分	拡充				

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	平成22年度	
	地域振興基金積立金		事業終了年度	—	
事業目的	恐竜博物館のさらなる魅力向上のために、ミュージアム・アップバリュー制度に基づき恐竜博物館観覧料の一部を地域振興基金へ積立				
事業内容	ミュージアム・アップバリュー制度に基づき恐竜博物館観覧料の一部を地域振興基金へ積立 【ミュージアムアップバリュー制度】 恐竜の化石など博物館の収蔵品について機動的な先行投資を行い、魅力の向上に合わせて料金を引き上げるにより、投資を回収する本県独自の制度				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	180,220	—		180,220	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	—			
	活動指標	—			
事業評価	令和7年度積立額：169,519千円 積立総額：466,906千円  ※事業評価指標については、観覧料収入の一部を基金に積み立てるといふ本事業の性質上、設定しない。				
区分	継続				

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和8年度	
	⑨ 恐竜を核とした学習・交流機会創出事業		事業終了年度	—	
事業目的	勝山市における恐竜を核としたまちづくり活動への補助することにより、本県の恐竜ブランドの向上および恐竜博物館への誘客を図る。				
事業内容	勝山市における恐竜を核としたまちづくり活動への補助 補助対象：「(仮)恐竜ジュニアアカデミー in 勝山」等の実施にかかる協議会事務局の運営費 補助率：県1／2 補助上限額：50万円				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	500	—			500
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	恐竜博物館入館者数（人）	1,300,000	—	令和8年度
	活動指標	補助金交付件数（件）	1	—	令和8年度
事業評価	—				
区分	—				

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和7年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和5年度	
	ふくいの魅力創造・発信応援事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	北陸新幹線福井・敦賀開業を契機に、企業や団体等の民間の力を活かした福井の魅力創造、観光誘客の促進を図る。				
事業内容	企業や団体が恐竜やZEN、そばなど福井を代表する地域資源等を活用して県内外に発信する経費を支援 (1) 大規模な魅力発信事業への支援（ハード） (2) 小規模な魅力発信事業への支援（ソフト）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	10,319	－			
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	補助件数（件）	7	9	令和7年度
事業評価	大規模な魅力発信事業への支援（ハード）：4件 ・アパートの外部に恐竜ペイント 等  小規模な魅力発信事業への支援（ソフト）：5件 ・地域資源発信のための外国語対応HPの構築 等				
区分	廃止	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和7年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和7年度	
	⑨ 福井が舞台のアニメ「千歳君はラムネ瓶のなか」とのタイアップPR事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	福井が舞台かつ作者が本県出身の「千歳君はラムネ瓶のなか」のアニメ放映に合わせ、福井の魅力为全国に発信し、ファンの誘客拡大を図る。				
事業内容	チラムネフェスの実施 ・アニメヒロイン声優のトークショーの開催 等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,462	－	3,231		3,231
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	イベント開催回数（回）	1	1	令和7年度
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメツーリズム協会の「訪れてみたい日本のアニメ聖地88（2026年版）」に、福井県で初めて選定。</li> <li>・チラムネフェスの開催（R8.3.8 来場者1,200人）</li> </ul> 成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定				
区分	完了				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和7年度
⑨ メディアとの連携による食の魅力発信・誘客拡大事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	テレビ番組とタイアップし、海産物を中心とする本県の食の魅力と観光情報等をあわせて発信し、本県への誘客拡大を図る。				
事業内容	(1) 北陸新幹線沿線の都市において海産物をメインとした「物産展」と観光PRを行うイベントを開催 (2) 本県の旬の食材や観光情報等をテレビ番組で放送				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	36,000	－	18,000		18,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	イベント開催数（回）	4	3	令和7年度
事業評価	物産展を中心としたイベントの開催および制作したテレビ番組の放映によって、本県の旬の観光情報と越前がにを中心とする海産物の魅力を首都圏等で発信することが出来た。 <事業実績> ・イベント（軽井沢・大宮・東京）総来場者数：53,746名 ・イベント総売上：4,896,288円				
区分	廃止	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和6年度
大阪・関西万博ふくいPRステージ開催事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	大阪・関西万博において、福井ならではのエンターテインメントを活用したPRステージ等を開催し、本県の認知度向上と誘客拡大を図る。				
事業内容	○大阪・関西万博 EXPOホール「シャインハット」での福井県PRステージの開催 時期：R7年7月16日 ・超リアル恐竜ライブショーやJETSによるチアダンスなどのステージショー ・伝統工芸品の展示や福井県産品の販売				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	55,000	－			55,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000	－	令和11年（暦年）
	活動指標	ステージ来場者数	3,000人	5,100人	令和7年度
事業評価	話題性の高い大阪・関西万博で福井PRステージを開催することで、恐竜や伝統工芸の魅力を発信し、誘客につなげることができた。 <事業実績> 来場者数の約7割が「1年以内に福井に行ってみたい」と回答（アンケート回答数1,500）				
区分	完了				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和4年度
大阪・関西万博出展事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	令和7年に開催される大阪・関西万博において、関西広域連合のパビリオンへ出展し、本県の魅力を世界に発信する。				
事業内容	(1) 関西パビリオン全体の運営・撤去工事負担 (2) 福井県独自展示スペース運営 (3) 福井県独自展示スペース撤去・レガシー活用 (4) 関西パビリオン多目的エリア催事出展				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	202,228	－			202,228
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	関西広域連合パビリオン来場者数（人）	1,000,000	1,487,393	令和7年度
	活動指標	福井県ゾーン出展日数（日）	184	184	令和7年度
事業評価	大阪・関西万博の関西パビリオンに福井県ゾーン「恐竜王国福井」を出展・運営するほか、関西パビリオン併設の多目的エリアでのPR催事「ZEN, Alive. Fukui」を開催。 来場者数：福井県ゾーン（4/13～10/13） 約336,100人 多目的エリア（7/8～13、9/17～22） 約66,500人 来場者アンケート：来場者数の約99%の方が面白かった、約98%の方が福井に行ってみたいと回答（回答数：1,200）				
区分	完了				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和4年度
第5次恐竜化石発掘調査準備事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	勝山市北谷の地層において、第4次発掘に引き続き実施する化石発掘調査にかかる準備を行う。				
事業内容	発掘予定岩石を覆っている表土部の除去				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	0	－			0
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	－			
	活動指標	－			
事業評価	令和7年度は、発掘予定地の表土崩落に伴い、事業実施を見送り工程の再検討を行った。8年度の発掘調査事業において一体的に表土掘削を実施する。 ※事業評価指標については、発掘調査実施のための準備という本事業の性質上、設定しない。				
区分	完了				

	交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和7年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和6年度	
	「ポケモン化石博物館」開催事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	国内外のポケモンファンを取り込み、本企画展を通して恐竜博物館にも興味を持っていただくことで、新幹線開業後も継続的に博物館への誘客を促進する。				
事業内容	人気ゲーム「ポケットモンスター」シリーズに登場する「カセキポケモン」と、恐竜博物館の「化石・古生物」を見比べる企画展を開催。 開催期間：令和7年3月8日（土）～5月25日（日）の79日間				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	0	－		217,880	△ 217,880
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	企画展観覧者数（人）	160,000	173,051	令和6～7年度
	活動指標	開催日数（日）	79	79	令和6～7年度
事業評価	本企画展の入場者数は目標を上回る17.3万人となり、例年、入館者数が減少傾向にある春休み後の時期の底上げを図ることができた。				
区分	完了				

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和6年度
恐竜博物館開館25周年記念準備事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	令和7年7月に迎える恐竜博物館開館25周年を記念して、3面ダイノシアターの新作制作等により、恐竜博物館の魅力向上・来館者の満足度向上を図る。				
事業内容	(1) 大型三面映像3作目の制作 (2) 恐竜博物館限定アニメーション映画の制作 (3) 開館25周年記念誌出版事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	116,184	－		102,000	14,184
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	恐竜博物館入館者数（人）	1,300,000	－	令和7年度
	活動指標	大型三面映像の制作	1	1	令和7年度
事業評価	開館25周年を記念した取組みを実施した。 ・大型三面映像3作目「夜の展示室編」の制作・公開（R8.2.1～） ・恐竜博物館限定アニメーション映画の制作・公開（R7.7.14～） ・開館25周年記念誌出版（R7.12.20～）				
区分	完了	※令和7年度の恐竜博物館入館者数は令和8年4月頃に確定する予定			

		交流文化部	誘客推進課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和7年度
アジア恐竜シンポジウム開催事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	「第6回アジア恐竜国際シンポジウム」を開催し、研究成果の発表等により、アジアの恐竜研究の更なる発展を図るとともに、恐竜博物館を国内外に広くアピールする。				
事業内容	(1) 国際シンポジウムの開催 (2) 講演など一般向け普及行事の開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	12,649	－			12,649
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	恐竜博物館入館者数（人）	1,300,000	－	令和7年度
	活動指標	開催日数（日）	3	3	令和7年度
事業評価	令和7年9月26日（金）～28日（日）に「第6回アジア恐竜国際シンポジウム」を開催した。 ・口頭発表44件 ・ポスターセッション47件 ・参加者約200名				
区分	完了	※令和7年度の恐竜博物館入館者数は令和8年4月頃に確定する予定			